令和７年度 学校評価　年間報告

令和8年1月26日
生徒会指導部　吉田信明

	点検・評価項目	自己評価 3 2 1	自己点検・自己評価項目総括	特記事項 （特徴・特色・特殊な事情など）
1．生徒会	・生徒会本部役員生徒に全校生徒の代表である誇りと責任感を涵養する	3	定例会議や様々な活動を積極的に行っており、指導成果が出ている。責任感の涵養に努めたい。生徒会役員選挙の時期を早め、新旧役員の円滑な引き継ぎを行うことができた。	入学式参列 部活動紹介・体験会
	・生徒会本部役員の主体性を支援する	3	生徒の主体性を尊重する方針に基づき、指導を継続する。	球技大会 体験入学見学ツアー
	・評議会機能を再構築し、学校全体の一体化と生徒会活動の強化をめざす	3	生徒総会や文化祭準備を通して評議会機能を活発化。	生徒総会 文化祭準備
	・行事などを通して全校生徒の潜在能力を開発し自尊心を養う	3	行事では生徒会が中心となり多くの生徒に活躍の場を提供している。	部活動紹介・体験会 球技大会 文化祭準備
	・外部交流を進め、地域に貢献するとともに、視野と活動の幅を広げる	3	木更津市中心市街地活性化を目指す各企画に参加、視野の拡充を図る。さらに充実を図る。	木更津舞尊ボランティアOrganic Industry Forum in KISARAZU 防災リーダー育成
２．委員会	・各委員会活動を通して、生徒たちに仕事の喜びと責任感を涵養する	2	委員会ごとに特色ある活動を展開中。行事での連携を図る。	各委員会の活動
	・委員会委員長の先生方と協力し、組織を整備するとともに活発な具体的活動を支援する	2	委員会のさらなる活発化に協力する。	行動計画書の実施
	・評議会への各委員会委員長生徒の参加を定例化する	2	行事及び全般的活動に対し、委員会サイドからのアプローチを実現している。	文化祭準備
	・「生徒会新聞」を発行して各委員会の活動報告を周知させるとともに委員の意識を高める	3	定期発行ができなかったが、Instagramによる情報は積極的・継続的に発信できた。次年度は発信媒体の検討が必要。	
３．部活動	・部活動・同好会全体加入率70%（前年度54.8%）、1年生加入率70%（前年度56.7%）を目標とする	3	部活動紹介・パンフレット・入学式後の勧誘活動等、精力的に活動した。体験入部後も募集案内の掲示を行った。1年を通じて入部数が増加した。１年生加入率は目標に達した。	全体加入率 63.3% 1年生加入率 72.4% (R8.1.30)
	・勧誘活動の強化策を各部と連携して講じる	3	各部との協力により勧誘活動を展開。入・退部届用紙、部員名簿を作成、管理システムをさらに改善。	部活動紹介動画・体験会パンフレット
	・「生徒会新聞」を発行して部活動報告を生徒目線で発信し、支援する	3	生徒会新聞の定期発行ができなかったが、Instagramによる情報は積極的・継続的に発信できた	
	・退部生徒の抑制を検討する	2	退部状況の把握に努めたが、改善方法の提案には至らなかった。	
４．行事運営	・各行事の意義を大切にし、生徒の様々な潜在能力の発揮・開発の場とする	3	行事の意義を踏まえ、生徒会が中心となり多くの生徒に活躍の場を提供している。	部活動紹介・体験会 球技大会 文化祭準備
	・安全対策を徹底するとともに、活動制限の中でも最善の企画を模索する	3	安全対策を講じながら、制限を緩和しながら充実した企画を実践。	文化祭準備
	・円滑で精度の高い企画・運営を実施する	3	反省をもとに、新機軸をうちだすとともに、企画書や進行表およびリハーサルを通して精度を高めている。	部活動紹介・体験会 球技大会 文化祭準備
	・各行事を学校全体で行う意識・態勢作りを継続する	3	テーマ募集、ポスター選考を生徒主体で行う。	球技大会 文化祭準備
	・行事反省に基づき、企画の改善を図る	3	昨年度の反省、アンケートの意見をもとに、改善を図る。	文化祭準備 体験入学見学ツアー